

ランク変動種

エビラシダ

シダ植物・ウラボシ目
ナヨシダ科

Gymnocarpium oyamense (Baker) Ching

今回評価	絶滅危惧IA類
群馬県(2022)	情報不足
環境省(2020)	指定なし

適用基準	定量簡易ACD
------	---------

評価理由	3地点で数10個体が確認された。しかし、過去に県内最大規模の集団が記録された地点などでは、ニホンジカによる食害や林床土壌の崩壊により生育を確認できない状態にある。
------	---

総産地数	6
現存	3
不明	3
絶滅	0

主な危険要因	動物食害(シカ)、その他(災害)、森林伐採 過去には伐採により減少したと考えられる。県内の分布域はニホンジカの食害が激しい地域にある。また、急斜面に生育するため、土壌流出や崩壊の影響も深刻である。
--------	---

県内の分布状況	
利根	
吾妻	
中部	
西部	○
東部	

特記事項	急斜面に生育するため、現状の把握が困難であった。過去の記録地点を精査したが、分布域の林床はニホンジカの食害によって裸地化し、相次ぐ集中豪雨によって林床が土壌ごと崩落していることが確認された。
------	---

トリゲモ

種子植物・オモダカ目
トチカガミ科

Najas minor All.

今回評価	絶滅危惧IA類
群馬県(2022)	絶滅
環境省(2020)	絶滅危惧II類

適用基準	定量D
------	-----

評価理由	県内では絶滅したと考えられたが、過去に記録された地点以外の1地点で、新たに確認された。しかし、分布は局限され、生育基盤も脆弱である。
------	--

総産地数	4
現存	1
不明	0
絶滅	3

主な危険要因	池沼開発、水質汚濁、自然遷移 生育地点は平野部の池沼で、改修工事の影響を受けやすい。また、水質の変化や遷移の進行によって衰退する危険性もある。
--------	--

県内の分布状況	
利根	
吾妻	
中部	
西部	
東部	○

特記事項	過去の記録も含めて、生育地点は平野部のみである。また、同定には顕微鏡的な観察を要求される。そのため、過去の記録には同属の植物の誤同定が非常に多い。
------	---

カワラアカザ

種子植物・ナデシコ目
ヒユ科

Chenopodium acuminatum Willd. var. *vachelii* (Hook. et Arn.) Moq.

今回評価	絶滅危惧IA類
群馬県(2022)	絶滅危惧IB類
環境省(2020)	指定なし

適用基準	定量簡易ACD
------	---------

評価理由	2022年「生存」とした複数地点の標本を精査した結果、シロザの誤同定であった。その中には最大の集団も含まれ、また平野部では近年の標本はなく、絶滅の危険性が高いと考えられる。
------	--

総産地数	14
現存	2
不明	6
絶滅	6

主な危険要因	河川開発、外来種競合・交雑、自然遷移 河道の安定化による礫河原の消失と、シナダレスズメガヤをはじめとする外来植物の繁茂や、大型植物への遷移が主な減少要因である。
--------	---

県内の分布状況	
利根	○
吾妻	
中部	○
西部	×
東部	×

特記事項	葉や花序だけから本種を同定することは難しい場合がある。花序に密生する太い毛を確認する必要がある。標本情報から、平成以降急激に減少していることが示唆される。
------	---